

第 20 回図書館総合展記念フォーラム
図書館——これまでの 20 年とこれからの 20 年
(2018-11-01)

イマキク (imakiku.com) による投稿結果

【問いかけ】

リレートークへのご意見・ご感想をお寄せください（特定の登壇者に対するご意見・ご感想の場合は、冒頭にお名前を記すなど、その旨がわかるようにしてください）。また、図書館のこれまで 20 年を振り返って、あるいは今後 20 年を展望して、思うところ、考えるところもぜひお聞かせください。なお、お寄せいただいたコメントは、後日、図書館総合展のウェブサイトで開催する予定です。

【コメント（投稿順）】

- 楽しみです
- ハードル高い
- 20 秒早い
- ライパー！
- がんばって！！
- ないよね！
- 電子化話がないよね
- リサーチマップだと出てこない。あと専門と言えるかわからない？
- 天下取れる？！
- 今井先生のお話、その通りです！としか言いようがなく。頑張ります……
- リサーチマップで検索、研究キーワード「学校図書館」で 41 名ヒットしますね
- ありがとうございます。学校図書館キーワードしっかり入っていましたあ！
- どうすれば学校司書が義務化されますか？
→学校図書館だけでなく、学校を取り巻く色々な仕事が義務化できるような動きが出てこないかと思えます。学校司書だけなんて優遇されるのかという話がどうしても出てくると思うので（今井）。
- 中・高生たちは YA サービスの存在あんま知らないと思う
- 資料貸し → プログラム→今は？
オフラインからオンライン なるほどね
- 朝読一
- 図書館が目に入ってない？
- 読みたい本と図書館のコレクションのギャップ？
- 読みたい本と蔵書のギャップは確かにある。どこまでリクエストに応えるか。
- メディアで図書委員や司書がまじめだったり暗かったりするキャラが多いこともバイアスに繋がっているのかな

と思います。もっとアクティブな司書や図書館のイメージのあるアニメやドラマなどが増えたらいいなと思います

●一行コメントでは答えづらいですが、義務化されるように関係者以外が納得する働きかけが、まずは必要だと思います。

●実践じゃなくて、実績が必要じゃないかなあ？どうでしょうか？

●司書にもカッコいい制服とかあればいいなあと思う。見た目から興味持ってもらえそう

●↓ カッコいい制服いいですね！

●「うごく・はこぶ」<http://www.yukensha.co.jp/contents/essay2/page/essay.html>

●いろいろな「働く自動車」があるんですね！

●村木先生へ。YA に限らないのですが、図書館の根本に関わることです。図書館の書架に並んでいるのは、誰も借りなかった本です。その中から選んでくださいと言っているのです。YA はその理屈に気づいてしまったと言えないでしょうか。

●「移動」

自動車自体がメディア

「時」を運ぶ？

モビリティマネジメント→リテラシー

なるほど

●企業に勤めながら、司書、司書教諭の勉強してます。

このIT 進化激しいなか、司書教諭は20年前の教科書、参考書ばかりで驚いています。

こんな勉強で司書教諭の資格が取れて良いのか。

どう思われますか？

●図書館の機能、特にレファレンスは移動車に限らず、一般市民に浸透していません。リテラシーに関わる問題だと思いますが、どうすればレファレンス、図書館員のチカラを詩ってもらえるでしょうか。

●ひなたせんせーがんばって

●教員の方が電子黒板や電子教材の取り組みで進んでいる印象があります。ただし、教科書がたとえ変わっても教える人材不足、司書教諭科目が使える大学のコンテンツや教材、情報器具の制限など複合した要員が絡んでいるので、単純な話ではないと考えます。

●徒歩40分で行ってました(高校時)。しんどかった。

●きっと図書館に慣れてなければ行かなかったでしょう…。

●地元の大きい図書館は遠い上に交通機関がほぼ無かった

●図書館という名前を変えちゃえば？

●日向司さま

ご質問ありがとうございます。

ある程度新刊は入れているはずなのに

ブックリストを作っても見向きもされないというのは、

面白くないか、情報が届いていないかではないでしょうか。

学校図書館には本がないから朝読等のために家から持ってくるように言われる学校が多いです。

ライトノベルになってしまうのは

他の媒体で内容が面白いと知っていることと
何よりも値段が安いことが
原因になっていることが指摘できます。
小学生にもそんな傾向が出てきています。
後、誰も借りない既存の本でも見せ方が大切だと思います。
もしよかったら後でお声がけください。

- 情報のキュレーター！これからの図書館員のありかたかも。
 - リカレント教育で養う
- 図書館の「公共性」ってことかの。
- 岡部センセイ早口
 - あの本面白かった？
 - 祖父の本棚はあったが親の本棚は無かった…
 - 読んだよー
 - 「紙も大好き電子も素敵」声に出して読みたい
 - 司書課程の単位の少なさもそうですが、司書の非正規化が進むなかで、本の知識がある職員が少なくなっているということも課題としてあるのでしょうか。
司書の読書場馴れも進んでいる？
 - 私も親の本棚はなかったですー
 - それぞれの本棚がある程家が広くなかった……。悲しき団地住まい。
 - 自分もスペース的な問題で最近漫画はもっぱら電子…
 - 図書館は、意識されないまま使われてきた 空気みたいね
 - 紙媒体だから、幼な子が手を伸ばせる。なるほど
まあ、うちの親には本棚はなかったけどね
 - 電子書籍は親の本棚を盗み見出来ない、なるほど？。
 - 紙の本が多い、親の本棚があるということは、家庭間の経済要因も多いと感じました。
 - ゲームとか大事と思うわけよ。ただし自分はもうそういうイベントを生かせないから
 - 新しいものに抵抗のないライブラリアン、確かに大事だよなあ。柔軟でありたいです。
 - 図書館って名前を捨てよう！って気にはほんと、ときどきなります。
 - 大学図書館はメディアセンターみたいな名前も増えましたね
 - メディアセンターもね、ちと古びてきた
 - ライブラリ>図書館 という概念かなあ
 - 職員名もね、なんか、変えたいかも
 - 親の本棚がなくなった時、深いなあ。いいヒントいただきました。

(以上)

2018.12.28